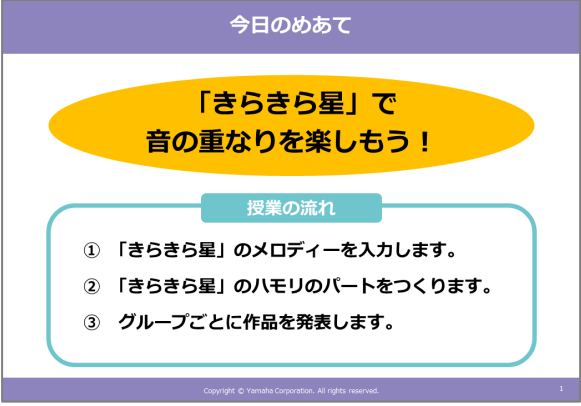
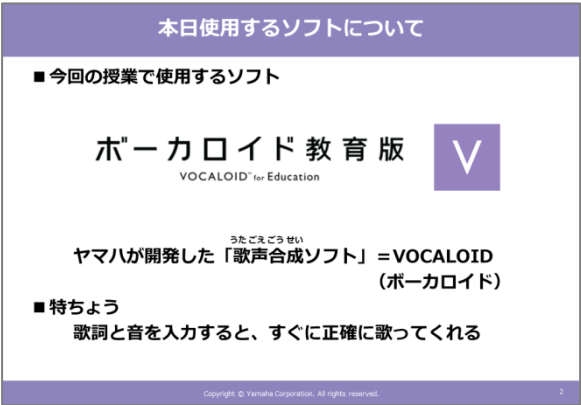


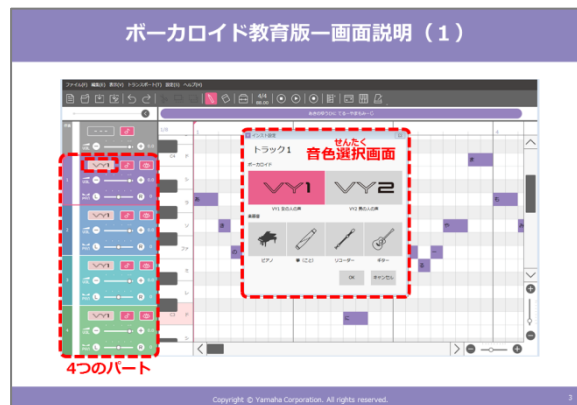
■参考シナリオ

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	留意点
<p>45分 導入 5分</p>	<p>■「きらきら星」を斉唱する。</p> <p>■本時の学習のめあてを確認する。(v01_bansho.pptx : P1)</p>  <p>T:今日はグループに分かれて「きらきら星」のメロディーに合うハモリのパートをつくります。 授業の流れとしては、まず「きらきら星」のメロディーをタブレット端末に入力します。 次にそのメロディーのハモリパートをつくります。 最後にできあがった作品を発表したいと思います。</p> <p>■授業で使用するソフトの紹介をする。(v01_bansho.pptx : P2)</p>  <p>T:今日はタブレット端末を使って音楽づくりに挑戦してみましょう。 使用するソフトは「ボーカロイド教育版」です。 T:「VOCALOID (ボーカロイド)」って聞いたことはありますか？(知っている人は?) C:ボカロ曲をよく聴きます。 C:いろいろなキャラクターの歌声があるよね。 T:そうですね。正確にはヤマハが開発した歌声合成ソフトのことを「VOCALOID」とよぶそうですよ。 ボーカロイドの特徴は歌詞と音を入力すると、すぐに正確に歌ってくれることです。 一度ボーカロイドの歌声を聴いてみましょうか。(momiji.vsqx)</p>	<p>★リコーダーで演奏しても可。</p> <p>★教師用PCと大型モニターをつないでパワーポイントを使って説明する。</p> <p>★教師用タブレット端末でボーカロイドの歌声を聴かせる。</p>

それではボーカロイド教育版の使い方を順番に説明していきます。

■ボーカロイド教育版の画面説明をする。(v01\_bansho.pptx : P3~4)

★まだ児童にはタブレット端末は触らせない。



T: まずは左側の部分の説明をします。ここは4つのパートを選択する画面です。

ボーカロイドは人の歌声を表現するソフトなので、1つのパートには単音しか入力できません。皆さんも歌を歌うとき、1人で2つのパートを同時に歌うことはできませんよね。それと同じです。

そのため、音を重ねるには他のパートを選んで入力します。

また、各パートにはそれぞれ音色を選ぶボタンがあり、女性の声だけでなく男性の声やリコーダーなどの楽器の音に変えることもできます。



T: 次に右側の部分の説明をします。ここは実際に歌詞と音を入力する画面です。

まずは歌詞を入力します。

歌詞を入力したら鉛筆ツールを選択し、音を入力します。

音を消したい時は隣の消しゴムツールで消します。

画面は縦の軸が音の高さ、横の軸が音の長さを表しています。

音を入力したら、上の再生ボタンを押すと歌声が再生され、隣の■のボタンで停止します。

入力した音がおかしかったら簡単に修正もできるので、修正したら聴き直し、また修正し、といろいろと試しながら歌をつくっていきましょう。

展開  
30分

■ボーカロイド教育版の画面から音の長さについて理解させる。  
(v01\_bansho.pptx : P5~6)



T: 音の長さについて詳しく説明します。

まず、上の1、2・・・(※1)と書いてある数字は小節を表しています。左から1小節目、2小節目・・・と音楽が流れていきます。

次に左上の「1/8」の部分をクリックします。そうすると、入力できる最小の音符の長さを選択する画面が開きます。

今は「1/8」となっているので、8分音符で入力できるようになっています。そこで皆さんに質問です。今、この1マスは1小節の枠の中に8個あります。1マスは何音符になるでしょうか？

C: 8分音符です。

T: そうですね。1マスは8分音符です。

そうすると、2マスだと何音符になるでしょうか？

C: 4分音符です。

T: その通りです。4分音符ですね。

「きらきら星」の楽譜を見てください。すべて4分音符でできていますね。なので、すべて2マスずつ入力していきましょう。

また、音符を何も入力しない部分は休符になります。

「きらきら星」の楽譜を見ると4分休符がありますね。この部分は何も入力せずに空白にしましょう。

★「1/8」を「1/4」に変更すると、4分音符が最小の入力音符に切替わる。

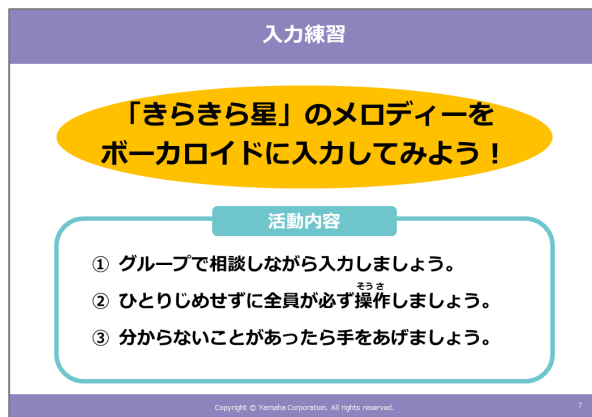
「きらきら星」はすべて4分音符のため、「1/4」に切り替えて入力した方が入力しやすい。その場合、1マスが4分音符となる。



T: 音の高さについて説明します。左に鍵盤の絵が書いてあるので分かりやすいと思いますが、上に行けばいくほど音が高くなり、下にいくほど低くなります。

ポイントは赤く表示されている「C3」の「ド」で、ここが真ん中の「ド」です。また、グレーの帯の部分は黒鍵です。「ド・レ・ミ・・・」と入力する時には「ド」のすぐ上ではなくもう1つ上が「レ」になります。「ド」のすぐ上は「ド#」なので気を付けましょう。

■ 「きらきら星」のメロディーをボーカロイド教育版に入力する。  
(v01\_bansho.pptx : P7)



T: それでは「きらきら星」のメロディーをボーカロイド教育版に入力してみましょう。

その前に皆さんにグループワークの約束事を言っておきます。  
(活動内容を確認する。)

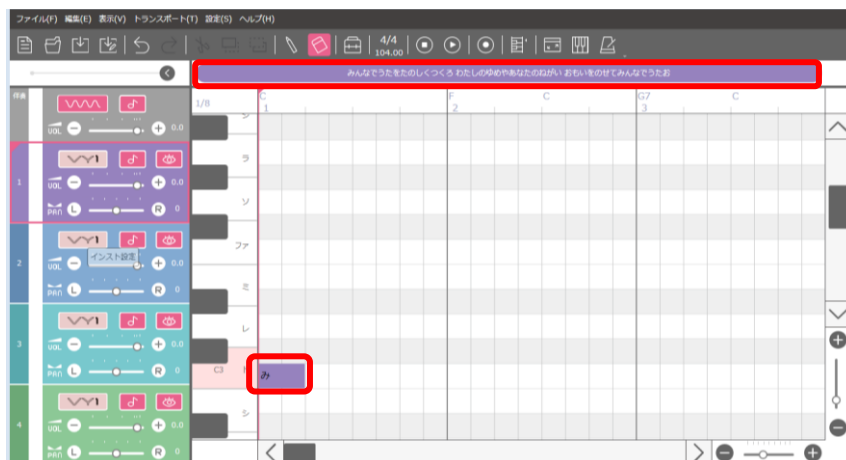
T: では「きらきら星」のメロディーを入力しますが、最初は一緒に操作していきましょう。

まず、ボーカロイド教育版のソフトを立ち上げます。



T: 画面が開いたら、左上の2つ目のアイコン「ファイルを開く」をタップします。

「kirakiraboshi\_nyuryoku.vsqx」というファイルを選択して「開く」を押します。



T: この画面になりましたか？

すでに歌詞と最初の音が入った状態になっています。

★大型モニターとタブレット端末をつなげて実際に操作しながら提示する。

★ 「kirakiraboshi\_nyuryoku.vsqx」を「kirakiraboshi\_nyuryoku.wavparts」と間違えないように注意。

★実際に2、3音続きを入力して提示する。その際に音の高さの修正や長さの修正なども併せて説明する。



T: それでは、グループで協力しあって続きのメロディーを入力していきましょう。(5分程度)

4小節くらい入力したら再生して確認しましょう。

### ■「きらきら星」のメロディーの正解を聴かせる。

(kirakiraboshi\_kansei.vsqx)

T: 楽譜通りに入力するとこうなります。聴いてみましょう。

皆さんもできましたか？

### ■保存データを作成する。

T: ここで一旦、皆さんの入力したデータを保存しましょう。



左上の左から4つめのアイコン「ファイルを名前を付けて保存」をタップします。

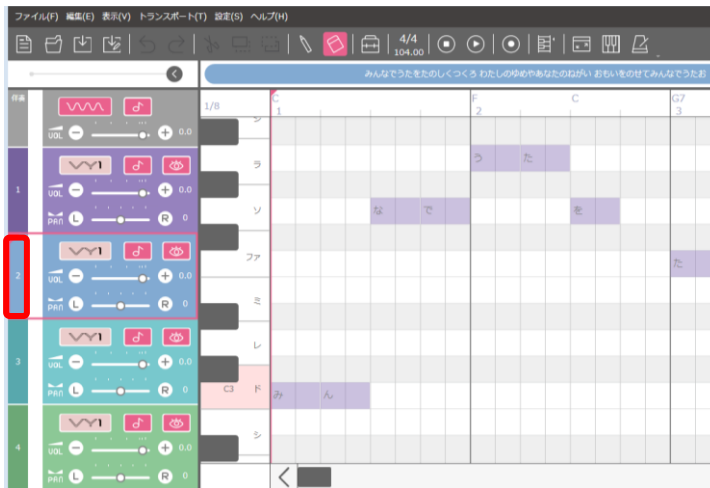
※データの保存場所やファイル名のつけ方などを指示する。

例 ・保存場所: デスクトップ

・保存ファイル名: (日付) (クラス・グループ名) きらきら星  
「2017\_0207\_5年1組A班きらきら星.vsqx」

### ■「きらきら星」のハモリパートをつくるための説明をする。

T: それでは、入力したメロディーに合うハモリのパートをつくりましょう。



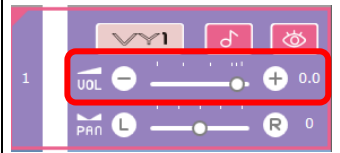
ハモリパートを入力する時は左側の部分で「トラック2」をタップします。そうするとさっき入力したメロディーが薄い色の表示に変わりましたね。

T: ハモリパートをつくる上で心強いガイドがあります。

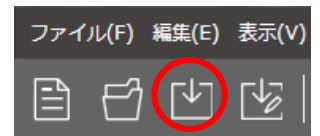
先ほど皆さんが入力したメロディーのデータには伴奏がついていました。気づきましたか？

この伴奏の和音の音を表示させることができます。

★タブレット端末の音が小さい場合はパートのボリュームを上げる。

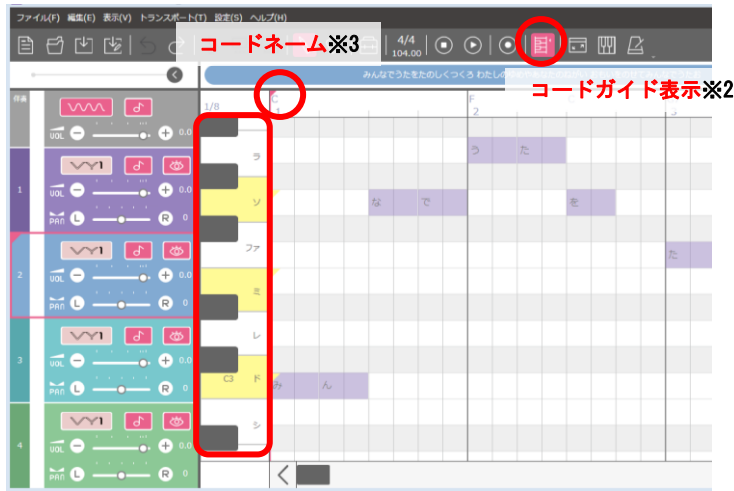


★以後、こまめに上書き保存をするように指示する。



★保存ファイルの初期値は「日付 - 時間」。

★引き続きタブレット端末を大型モニターにつないで操作しながら説明する。



T: 上の鍵盤が縦になっているアイコンの「コードガイド表示 (※2)」をタップしましょう。

そうすると、左側の鍵盤に伴奏の和音の音が黄色く表示されますね。

この黄色く表示された音でハモリパートをつくと、きれいなハーモニーをつくることができます。

ただ1点注意があります。

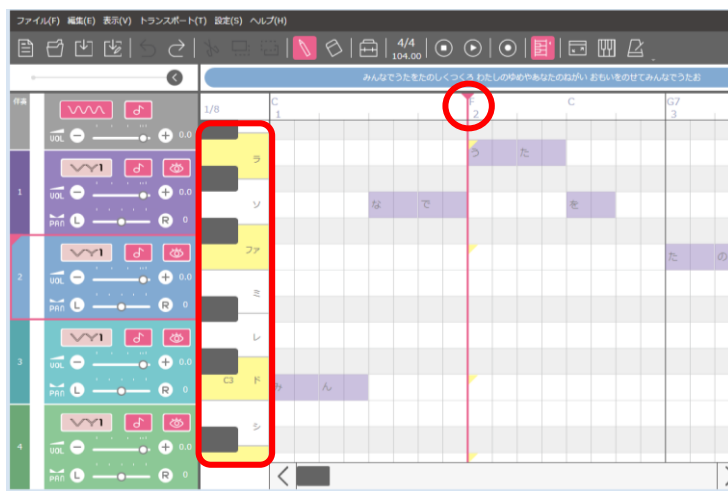
この和音の音は赤の縦線の部分の伴奏の音を示しています。

小節番号の上にあるアルファベットは「コードネーム (※3)」とって、伴奏の和音の種類を示しています。

アルファベットが変わると伴奏の和音の音も変わります。

試しに2小節目の「F」の部分に赤の線を移動させるとどうなるかやってみましょう。

今は「C」に赤の線があって、黄色の音は「ド・ミ・ソ」ですね。



T: 「F」の上のあたりをクリックすると赤の線が移動します。

そうすると「ファ・ラ・ド」になりましたね。

なので、ハモリの音を入力する場所に合わせて赤の線も移動させるのを忘れないようにしましょう。

T: それでは、グループで協力してハモリパートづくりに挑戦してみましょう！(10分程度)

○:○○(時間を指定する)には各グループの作品を発表してもらいます。入力した音を再生して確認しながら進めていきましょうね。

★実際に2、3音ハモリのパートを入力して再生し、お手本を見せると児童の理解も深まる。

★必ずしも黄色の音のみを使わなければならない訳ではない。それ以外の音も少し混ぜてもよい。最終的には自分たちの耳が頼りであることを伝える。

★ハモリパートの音が主旋律よりも上にあったり、主旋律の前後の音と同じだと主旋律が引き立たなくなってしまう。

★こまめに上書き保存するように促す。

	<p>T: できたグループは、さらに別のパートをつくってもいいですよ。          その場合は左の「トラック 3」を選択してつくりましょう。          それぞれのパートの音色を変えて試してみてもいいですね。          伴奏の和音以外の音を少しだけ混ぜて試してみてもよいかもしれません。          いろいろと試してみましよう。</p>	<p>★早くできたグループには更なるステップアップを促す。</p> <p>★やり方が分からず戸惑っているグループには教師も話し合いに参加して適切な助言を与える。</p>
<p>ま と め  10 分</p>	<p>■完成した作品を順番に発表し、他のグループの作品の評価をワークシートに記入する。(v01_sheet.pdf)</p> <p>T: それではできあがった作品を順番に発表していきます。          その前に、皆さんのつくったデータを上書き保存してください。          そして、ワークシートに自分たちがハモリパートをつくる上でどんなところを工夫したか記入して下さい。作品と一緒に工夫した点も発表してもらいます。</p> <p>順番にタブレット端末を前に持ってきてください。          他のグループの作品の良かったところやもっと工夫したらよい点などをワークシートに書きながら聴きましょう。          それでは〇〇グループの作品です。(順番に発表)</p> <p>■ワークシートに今日の授業の感想と自己評価を記入する。</p>	<p>★ワークシートを全員に配布。</p> <p>★児童のタブレット端末を大型モニターにつないで順番に発表していく。</p> <p>★最後に「kirakiraboshi_hamori.vsqx」を参考に聴かせてもよい。</p>